

1. 件名：「島根原子力発電所 2 号炉の地震等に係る新基準適合性審査に関する事業者ヒアリング(138)」

2. 日時：令和 2 年 1 1 月 1 1 日（水） 1 0 時 3 0 分～ 1 2 時 4 0 分

3. 場所：原子力規制庁 9 階耐震会議室

4. 出席者（※：テレビ会議システムによる出席）

原子力規制庁：内藤安全規制調整官、熊谷管理官補佐、佐口主任安全審査官、谷主任安全審査官、海田安全審査専門職、菅谷技術研究調査官、松末技術参与

中国電力株式会社：山田常務執行役員 他 7 名※

5. 自動文字起こし結果

別紙のとおり

※音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

6. 提出資料

- ・ 島根原子力発電所 火山影響評価について
- ・ 島根原子力発電所 火山影響評価について（補足説明）
- ・ 島根原子力発電所 2 号機 コメントリスト（地震・津波関係）

時間	自動文字起こし結果
0:00:05	すいませんでは中国電力でございますがちょっと最初にですね、11月の1日 ですね、当社ちょっと組織組織でが異動がありまして、清水マネージャーが バー担当部長になりまして、
0:00:20	ここにいますか島がですね、このマネージャーになったということでございま す。あとのメンバーに変更はございませんので、よろしくお願いいたします。
0:00:32	それでは説明させていただいてよろしいございませんでしょうか。はい、よろし く願いますっては原子力当島根原子力発電所火山影響評価についてやり 始めたいと思います。よろしくお願いいたします。
0:00:45	よろしくお願いいたします。
0:00:53	中国電力のイマムラですがこれより、島根原子力発電所火山影響評価につい ての
0:01:02	火山影響評価についての設定やリングの説明をさせていただきます。まず、 資料のご確認ですが、
0:01:09	島根原子力発電所火山影響評価についての本資料及び補足説明資料は手 元にありますでしょうか。
0:01:17	はい、規制庁クマガエです資料ありますのでお願いします。それで今回の説明 についてはですね、
0:01:24	どこをどういうふうに変更したのかという変更点をきちんと明示してもらうとも にですね、どういった考え方で変更したのかというのもですね、
0:01:33	説明いただければと思いますのでよろしくお願いいたします。
0:01:39	中国電力の今村です。承知いたしました。
0:01:45	ではこれより、
0:01:46	火山のヒアリング資料の説明に移らせていただきます。
0:01:51	まず、本資料の
0:01:53	19ページをお願いいたします。
0:02:02	前回のヒアリングにおいて、
0:02:04	抽出者第4紀火山を地質調査総合センター2020以外の文献で統合した考え 方を説明することをコメントに対応しまして、資料の適正化を行っております。
0:02:17	資料の19ページを御確認いただきますと、
0:02:21	青文字で示すように、以下のフローに従い原子力発電所に影響をおよぼし得 る火山として、今回は17回17火山を抽出したとありましたが、今回は目先買 おう単成火山として抽出し、18火山を抽出しております。
0:02:38	20ページをよろしくお願いいたします。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。  
発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:02:44	20 ページの下の黄色の枠の文字になつての説明文章になりますが、第 4 紀火山前回は 23 火山のうちと評価を評価しておりましたが、佐賀を追加したことにより 24 火山のうち、
0:02:58	もうように表現を変えております。また、
0:03:02	右図のひょうご確認いただきますと、赤文字で示した。
0:03:07	火山群が前回からの変更点となっております、
0:03:12	前回の今回の横田火山群は、前回の鶴田のろう含めた火山盤火山群、森田山は三瓶山と別に分けて、
0:03:23	個別で評価しております。
0:03:30	補足資料の
0:03:33	11 ページから 28 ページにおきまして、
0:03:37	御確認ください。
0:03:49	補足資料の 10 ページ以降目はタイトルに赤文字、
0:03:54	示した資料が火山の名称が変更している箇所を示しております。こちらについては、地質調査総合センター2020 に基づいて、
0:04:06	評価をした火山群の名称を変更しております。
0:04:13	次に、本資料の 45 ページを御確認ください。
0:04:29	45 ページに 5 名はしましてはいいですか。規制庁ナイトウですけども、何利根川さんの話だと何を説明したのかようわからないんだけど、前は H 町のやつでもって一番新しいやつでもって江別火山なってるやつをほかの文献と一緒にしたという形になってるんだけどそこはどう整理するのか。
0:04:48	ここでコメントしたんだけど、それに対してどういうふうに整理したのかが全然進めないとかわかんないんだけど、そういった形でちゃんと説明してもらえますか資料はこう直しましたって説明されたってしょうがない。
0:04:59	いいですか。
0:05:05	はい、中国電力の今村です。
0:05:08	第 4 紀火山の抽出に置きましたは前回のヒアリングの資料の説明では、
0:05:13	実所さ総合センター2020 やその他文献さ、三つの文献を利用して評価を個別で評価しておりましたが、
0:05:23	地質賞受賞さ総合センター2020 年に関しましては既往文献をすべて含めて総合的に評価した結果、
0:05:33	導き出された結果であることから、その結果を尊重し、今回の資料には致傷さ総合センター2020 のが最新の知見を踏まえて、第 4 紀火山を整理しているということから、
0:05:46	実損さ総合センター2020 で整理センター火山、

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:05:50	目に基づき抽出を行った資料になっております。
0:06:05	中国電力のイマムラズ、今の回答でよろしかったでしょうか。
0:06:11	規制庁ナイトウですけれども、どういう考え方で整理したの。そうしながらもうあれでしょ。ダイアグラムでは一緒にしたやつとかあるんですよね。そこはどのような考え方でどう整理したのかってそういうのをちゃんと説明してもらおうとわからないんですけど。
0:06:39	中国電力の田中です。15 ページをお願いしたいと思います。
0:06:49	前回、先ほどもちょっと話が一部重複しますけども先ほど申しあげました通り前回までは江藤錦ほか編 2012 と中野港ほか編 2013、それとMark都度更新されております地質調査政務総合センターのウェブ版ですね。
0:07:07	これは日本の火山になりますけども、これを踏まえて抽出を行ってその中の分岐系統記載等も踏まえまして、一部統合というものを
0:07:18	事業者の判断も含めてやっていたというものでございました。前回の御指摘は、どっち地質調査総合センターのウェブ版ではそれぞれ統合せずに分離された状態で記載されていると、これは最新の知見であるにもかかわらず、
0:07:33	古い地形を使いながら統合するのはどうかと、そこに考え方はどうかというふうなご質問があったというふうに理解をしております。
0:07:42	今回再度ですね、考え方のほうを整理しまして、これは先行サイトさんの、例えば関西さんとか女川さんも同じだと思いますが、基本的には最新であります地質調査総合センターのウェブ版の考え方。
0:07:58	いわゆる統合とか分離とか、そのまとめ方も含めてですね、最新の知見に合わせて評価を見直したっていうのが今回の修正点でございます。以上です。
0:09:12	規制庁の伊藤ですけれども、えっとね、統一も 300 のところに森田山がまた入ってんだよね。そこはどのような考え方で整理したんですか。ダイアグラム
0:09:25	はい、中国電力の田中です。補足説明資料のほうでお願いしたいと思うんですが、
0:09:35	11 ページをお願いします。
0:09:40	こちらのほうに森田山と思うのねと三瓶山につきましては、もともと統合という形でお示しておりましたけれども今回は分離した形で基本的小示しております。11 ページのほうに森田山の評価結果を示しております、約 110 万年前
0:09:57	dにこういった噴火があったというふうな整理させていただいております。
0:10:02	もう 1 点三名さんのほうのダイアグラムになりますけれども、こちらを本編資料のほうに戻っていただきまして、
0:10:10	少々お待ちください。

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:10:14	63 ページをお願いします。
0:10:25	63 ページのほうですけれどもに囊下の箱書きのほうに考え方を整理させていただいておりますけれども、地質調査総合センター2020 につきましては三瓶山と東邦北方のモリタを区別して整理しておりますけども、
0:10:40	その一方で三瓶山 300 ある設計山林でカルデラ形成以前の山体でお子さんで或いは 1300 と呼ばれる当選カルデラ火山というふうな記載もないんで、実際にこの地質調査総合センター2012 時は記載されております。
0:10:57	こういったことを踏まえまして三瓶山の噴火履歴の検討に当たりましては、森田山の噴火も含めて評価するというので、今回整理させていただいております。以上です。
0:11:24	規制庁なるんですけれども、ほかの読むほど下の分離したやつは、
0:11:28	ToyaGはどういう整理したんですか。
0:11:33	はい中国電力の田中です。基本的には分離したものはそれぞれ単体で評価をしております、それは補足説明資料のほうになりますけれども、
0:11:44	個別に階段ダイヤグラムのほうを整理させていただいております。
0:11:49	これ、
0:11:56	皆さん、
0:11:57	少々お待ちくださいへと例えば具体的な例を申し上げますと、それと、補足説明資料の 28 ページをお願いします。
0:12:11	これ兵庫県のほうになりますけれども、27 ページ 2 款鍋火山群でございまして、以前の資料ですとこの間鍋火山間鍋という名前でね御説明させていただいておりましたが、その中に目坂を含むという形でダイヤグラムを作成しておりました。
0:12:27	今回の資料のほうにつきましては、28 ページにお示しておりますように留め坂の方を分離しましてメダカ単体でのダイヤグラムを作成しております。
0:12:38	こういった形で分離した形で評価をして見直しておると。
0:12:43	いうことでございます。以上です。
0:12:56	規制庁のナイトウですけれども、で直したところは考え方としては一等地調の 2020 に基づいて火山は分類していますと、基本はそれに基づいてダイヤグラムをつくっているけれども、
0:13:16	三瓶山については、地調の 2020 でも 1000 カルデラだというふうな記載もあることから和布階段ダイヤグラムにうついてはモニターは、
0:13:26	3 弁の中に入れ込んだ形で整理しましたと、ほかはそういう入れ込んだ形になっているものはありませんとそういう理解でいいですか。
0:13:36	はい中国電力の田中です。その通りでございます。以上です。

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:13:41	はい。起こりもしますと言うとね、説明はそういう形でやってもらえますかこのページをしまったって説明しても、どういう考え方でどうしたのか全然わからないので、皆さんが
0:13:53	電力さんとして、中国電力としてどういう考え方でどう再整理したのかということわかるように説明していただかないと。
0:14:03	当試料心行ってますっていう説明は読めやわかるので、
0:14:10	そういう形で以降説明をお願いします。引き続きお願いします。
0:14:19	中国電力の今村です。
0:14:22	本資料の 45 ページをよろしくお願ひいたします。
0:14:31	本資料の 45 ページでは、前回のヒアリングで敷地のボーリング調査のエビデンスを示すとともに、第四期の降下火砕物が確認されなかったことを明記することというコメントいただきまして、
0:14:44	修正した点を
0:14:46	県は、
0:14:48	この青の
0:14:50	白抜きの青丸で記載されたボーリング地点が、
0:14:53	既往の審査会合あ 45 ページの下の
0:14:58	赤字で示したに明記しておりますが、第 762 回審査会合
0:15:04	第 802 回審査会合及び第 841 回審査会合において机上配付資料としてちゅう醸造配付提出済みしております。そので設備の仕様のボーリング資料を確認していただきますと、
0:15:18	には第四期火山、
0:15:19	要は確認されないことから、
0:15:22	当敷地内では、第 4 紀火山を給源とする降下火砕物が確認されていないというふうにご治療を修正しております。
0:15:35	次に、本資料の 50 ページをよろしくお願ひいたします。
0:15:48	50 ページでは、前回のヒアリング、
0:15:51	コメントとして、敷地周辺 30km 圏内の地質調査結果において、文献や敷地調査で確認されている層圧を明示することというコメントがあり、ありましたので、再整理を行いました。
0:16:04	敷地周辺 30km 以内では 3 弁を給源とする火山灰としては SK のみ確認されているため、
0:16:12	下の

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:16:14	図も下の米印で書いた赤、赤文字で示しておりますが、敷地周辺格好敷地を中心とする半径約 30km範囲で確認されたSKのみを示すという部分を追加追記しまして、
0:16:30	今回、この図にし、関しては 3 秒急減
0:16:34	3 名を給源とする火山灰についてはSKのみをちよっとしている。
0:16:38	旨を追記しております。
0:16:46	次に、本資料の 66 ページをよろしくお願いいたします。
0:17:00	前回のヒアリングのコメントにおいてSE系の噴出量 4.15 立米についてSF経路をトウソウあっせんて妥当性確認を行う考え方を説明すること。
0:17:13	コメントが、
0:17:15	ありまして、そちらについて、
0:17:17	記載の修正を行っております。
0:17:22	66 ページの箱書きの 2 ポツ目。
0:17:25	3 ブレーキのテフラ噴出時の
0:17:28	噴火規模については、割合前通る 2020 によると、SE経由とSE系、Lは別々の噴火イベントされていること及びsF経路LはSEKUと比較し、厚く堆積されするとされていることを踏まえ、
0:17:45	SMKというは広い範囲に分布する物の体積堆積量はわずかと考えられることから、支配的と考えられるsf系Lの分布域に着目してくん水量の妥当性を確認を行いました。
0:18:00	その結果として、第四期の噴出量 4.15。
0:18:04	その立米と評価することは、概ね妥当と判断するし、噴出量の妥当性確認は、
0:18:10	補足説明のIV300 のテフラ噴出時の噴火規模についてを参照しております。
0:18:18	補足資料の 156 ページを御確認ください。
0:18:36	補足資料の 156 ページ。
0:18:39	につきましては、本資料 1 ポツ目については、
0:18:42	本資料と同じ文章が明記され、
0:18:46	2 ポツ目に、
0:18:47	町新井 2011 に示された等層圧線図をもとに、最新の文献及び地質調査による購買厚さを包絡するように保管した闘争あっせん増作成しました。
0:18:59	なお、三瓶山から約 160km以遠に位置する兵庫県南部、
0:19:04	奈良盆地奈良県たら本庁下がって、
0:19:08	三重県成分及び、
0:19:10	遠州灘については給源からの距離に対し、周辺の勾配厚さと比較し、一つずつ思想圧が大きく逆転し消火生じていることから、参考扱いとしております。

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:19:23	これらの検討を踏まえ、三陸のテフラの噴出量は 4.0km 立米及び 0.15 の火砕流を追加して 4.15 としております。
0:19:44	次に、
0:19:45	補足資料の 50
0:19:48	55 ページをよろしく願いいたします。
0:20:04	補足資料の 55 ページ以降に関しましては、
0:20:08	300 に乗ってくる
0:20:12	火山灰シミュレーションのパラメータ及び敷地における購買層圧の算定式の妥当性確認のため実施したサンドイッチのテフラの勾配層厚に関する文献調査及び地質調査結果を示しております。
0:20:27	こちらの調査結果に関しましては、前回のヒアリングコメントに関して、露頭調査を実施した支店の選定理由を説明すること。
0:20:36	の
0:20:39	コメントを踏まえ、
0:20:41	前段に、
0:20:43	文献調査及び敷地、地質調査の考え方を明示
0:20:49	56 ページに 300 のテフラの性状を明示しておりますが、まず 55 ページの説明に移らせていただきます。
0:20:57	300 世テフラの文献調査にとしまして、
0:21:01	300 のテフラの勾配層厚に関する文献調査を行い、三瓶山からの距離と層圧の関係を整理しました。
0:21:09	三瓶山から敷地まで距離が 55km であることを踏まえ、三瓶山から敷地に相当する範囲の勾配降灰層厚と、敷地における購買層圧の算定式を比較した結果、
0:21:20	広島県北東部(5)山周辺及び岡山県北西部は購買層圧の算定式を上回っていることを確認しております。
0:21:32	右図のグラフに、
0:21:34	赤の赤の半透明の赤で示した範囲が三瓶山から敷地に相当する範囲と当社では検討しておる範囲です。
0:21:44	この結果をもって地質調査といたしまして、広島県北東部の層厚 70cm 及び岡山県北西部の層厚 155cm は給源からの距離に対し、周辺の勾配厚さと比較し、突出して層厚が大きいことから、
0:22:00	300 のテフラの勾配育つに関するデータ拡充のため現地調査を行い槽層圧を評価する。
0:22:06	としております。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。



0:22:11	こちらの2地点に関しましては前回のコメントに関しまして、
0:22:17	この
0:22:18	日伝の購買層圧を参考扱いとする考え方を説明すること。
0:22:23	と示してコメントを受けまして、補足資料の
0:22:30	本資料の106ページを御確認ください。
0:22:44	本資料の106ページに、三瓶山の敷地周辺の層圧を踏まえた検討算定式の妥当性、
0:22:51	保管しまして、記載の適正化を行っております。
0:22:57	2ポツ目以降が修正を加えた文章になっておりまして、当該算定式の適用に当たり、三瓶山から敷地までの距離に相当する位置、位置付近の層圧が保守的な評価となることを確認する。
0:23:10	各校Y報告地点の勾配厚さの根拠。
0:23:13	は、先ほど説明した説明予定の300のテフラの勾配育つに関する文献調査及び地質調査を参照。
0:23:22	なお、三瓶山から敷地までに距離に相当する位置に当たる広島県北東部の層厚70cm及び和歌山県北西部の層圧155cmについては給源からの距離に対し、周辺の勾配厚さと比較し、一つ資料大きく
0:23:38	当該地点の代表を示すような層厚とは考えがたいことから、事実調査により評価を実施し、
0:23:46	公立する地質調査結果を用いて大きく層圧を参考扱いとしております。
0:23:54	地質調査結果をもって、下の箱書きになります。当該三島市三瓶式は、三瓶山からの距離が概ね40キロ以上の場合、給源からの距離に対する購買層厚の変化は小さくなっております。
0:24:08	一方、三瓶山からの距離が概ね40km未満の場合、給源からの距離に対する購買層厚の変化が大きくなっております。
0:24:17	三瓶山から敷地までの距離に相当する位置付近において、
0:24:20	後配報告地点の層圧は当該賛否式に比べて小さく、保守的な層厚検討評価となっております。
0:24:29	以上のことから、当該算定式を用いることは妥当であると判断しております。
0:24:34	この結果に至った現地調査結果をまた補足資料に戻っていただきますが、
0:24:42	補足資料の55ページ以降に記載しております。
0:24:45	では次に、補足資料の56ページを御確認ください。
0:24:52	はい。
0:24:55	補足資料の56ページに300によってG性状に関して、資料を追記したように追加しております。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:25:03	マツイの上、1971 によりますと 300 のテフラは会派から褐色固結度が低く有色鉱物として角閃石多く含むとされており。
0:25:14	愛しみウラ 1987 によりますと 300 のテフラ層序的にはATのちょっと
0:25:26	はい。etの直上に分布するとされており、
0:25:30	また、
0:25:35	規制庁クマガエです。
0:25:38	こちらのほうが聞こえてますでしょうか。
0:26:21	ただ、
0:26:24	中国電力の今村です。
0:26:26	聞こえておりますでしょうか。
0:26:29	規制庁クマガエです。今音声聞こえるようになりました。
0:26:40	設置をクマガエでその先ほどの音声途切れてしまったので、ちょっと
0:26:48	56 ページからの説明のところからですね、取り入れてしまいましたので、ちょっと戻っていただいてまた御説明いただければと思います。
0:27:08	規制庁クマガエですこちらの音声聞こえてますでしょうか。
0:27:22	規制庁クマガエです。
0:27:24	こちらの音声こうやってますけど、聞こえてたら、何か。
0:27:28	手を上げるなりしていただけますか。
0:27:33	と。
0:27:36	中国電力の今村です。聞こえておりますでしょうか、こちら、こっち側はちょっと声が途切れて聞こえて、
0:27:45	いる状況です。
0:27:49	規制庁クマガエです。
0:27:52	そちらの声は、こちらにはよく聞こえてます。
0:27:55	規制庁の音声はあまりそちらには、
0:27:58	うまく届いてないでしょうかと中国電力の今村です。声声が途切れて聞こえる状況のため、ガスもオフ例。
0:28:09	説明させていただき、
0:28:12	きましようか。
0:28:20	はい、規制庁クマガエですね、画像と中国電力の今村です。
0:28:25	機構の画像切って音声だけで通信してみたいと思います。
0:28:36	はい。
0:28:39	はい。
0:28:40	規制庁クマガエです。音声を聞こえますでしょうか。
0:28:59	規制庁クマガエです東京分室さんも音声は聞こえてますでしょうか。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:29:56	規制庁クマガエです。
0:29:58	音声聞こえてますでしょうか。
0:30:22	規制庁クマガエです。一旦再起動して、
0:30:26	再度つなげたいと思います。
0:30:50	中国電力の今村です。聞こえておりますでしょうか。
0:31:04	中国電力の今村です。今聞こえました。
0:31:09	設置聞こえますでしょうかはい規制庁クマガエず、音声こちらのせよ聞こえて ます。
0:31:17	うん。
0:31:19	そうなんですけど。
0:31:22	規制庁クマガエです。音声聞こえますでしょうか。中国電力今もう1周辺の層 圧を踏まえた検討としてダンパ算定式の妥当性評価についての説明を最初か らさせていただきたいと思います。
0:31:37	だいじょよろしいでしょうか。
0:31:40	はい、規制庁クマガエです。
0:31:43	こちらの音声を超えてましてこちらの音声もシナリオ聞こえてるようですので、
0:31:49	置いてますでしょうか、再度確認をお願いいたします。
0:31:55	中国電力の今村です。音声
0:31:57	聞き取りております。はい、ありがとうございます。
0:32:03	それでは
0:32:04	ちょっと、
0:32:05	状況よろしくないようですので、東京分子さんの方は一旦入れない形で、
0:32:12	基本、
0:32:14	本店さんとともにですねその二つの回線でこれから進めていきたいと思いま す。
0:32:20	それでは説明のほう、
0:32:23	続けてお願いいたします。
0:32:29	承知いたしました。中国電力の今村です。本資料の 106 ページをお願いいた します。
0:32:45	本資料の 106 ページに関しましては、
0:32:47	だって、三瓶式の妥当性確認としまして、
0:32:51	2 ポツ目の赤文字から修正を加えております。
0:32:55	当該算定式の適用に当たり、三瓶山から敷地までの距離に相当する位置付 近の層圧が押し的な検討等のあることを確認するため、各報告勾配報告遅延 の勾配厚さの

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:33:09	今回、文献調査を補足資料の 55 ページ以降に明示しております。
0:33:16	なお、三瓶山から敷地までの距離に相当する位置に当たる広島県北東部
0:33:21	の層厚 70cm及び岡山県北西部、
0:33:25	の層圧 155 センチ、
0:33:28	につきましては、前回のヒアリング、
0:33:31	3 日間しまして、
0:33:37	参考扱いとする考え方を説明すること。
0:33:40	というコメントがありまして、この赤文字として、
0:33:44	この 2 地点に関しましては、給源からの距離に対し、周辺の勾配厚さと比較し、一つして大きく、当該地点の代表性を示す層厚層厚とは考えがたいことから、
0:33:56	事実調査を実施し、評価を実施し、
0:33:59	蒸気層圧を参考効率する実質蒸散により評価を実施しておき層圧を参考扱いとしております。
0:34:08	この考え方にしましては、下の箱書きに示す通り、当該算定式は、三瓶山からの距離が概ね 40 キロ以上の場合、
0:34:17	給源からの距離に対する降灰層厚の変化が小さくなること。
0:34:22	一方、三瓶山カラム距離が概ね 40km未満の場合、給源からの距離に対する降灰層厚の変化が大きくなる。
0:34:30	あと、
0:34:32	三瓶山から敷地までの距離に相当する位置付近においては、降灰各降灰報告地点の層圧は当該算定式に比べて小さく、保守的な層厚評価となっている。
0:34:44	以上のことから、当該算定式を用いることは妥当であると判断しております。
0:34:49	このバックしようにして補足資料の 55 ページをご参照ください。
0:35:04	補足資料の 55 ページ以降には 3 べきのテフラの火山灰シミュレーションのパラメーター及び敷地における降灰層圧の算定式の妥当性確認のため実施した三陸のテフラの降灰層厚に関する文献調査及び地質調査結果を示しております。
0:35:23	300tの文献調査に関しましては、三瓶山からの距離と層圧の関係を整理し、
0:35:29	三瓶山から敷地までの距離が 55kmであることを踏まえ、
0:35:33	三瓶山から敷地に相当する範囲のアイ層厚と、敷地における降灰層圧の算定式を比較した結果、
0:35:41	3 点目の赤色で足み左の右、
0:35:46	右図に示すグラフに半透明な中で示す範囲、

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:35:51	三瓶山から敷地に相当する範囲と考えておりますが、
0:35:56	比較した結果、広島県北東部及び岡山県北西部が降灰層圧の算定式を上回っていることを確認しました。
0:36:05	この方、このことから、この2地点におきまして、
0:36:09	広島県北東部の層厚70cm及び岡山県北西部の層圧155cmは給源からの距離に対し、周辺の港湾厚さと比較し、一つして層厚が大きいため、寒い時期のテフラの降灰層厚に関するデータ拡充のために現地調査を行い層圧を評価することといたしました。
0:36:30	次のページの56ページをご参照ください。
0:36:40	補足資料の56ページに300によってウランの性状について資料を追加しております。
0:36:47	3便益のテフラの性状に関しましては、松井井上1971によると300のテフラは会派から褐色固結度は低く有色鉱物として角閃石多く含むとされております。
0:36:59	廃止ミウラ198らによると、よりますと、3名期のテフラ層序的にはATの直上に分布するとされており、また、地質柱状図によると、3V-テフラの上位には火山灰スガヤ区僕が分岐する機会が多いことを確認しております。
0:37:16	廃止ミウラ198の地質柱状図によりますと、広島県北部において304テフラが厚く堆積されていることから、文献の地質柱状図を参考に、当該地域付近後述しますが、
0:37:31	現調され広島県北部、難聴すぐ敦賀か、難聴上期島の地質調査により実質対比を行い、模式的な地質地層区分を把握した上で、
0:37:44	上記の2地点広島県北東部及び岡山県北西部の地質調査を行いました。
0:37:52	57ページ以降には、
0:37:55	各文献の
0:37:57	購買報告地点と厚さを
0:37:59	明記しております。
0:38:02	58ページを御確認ください。
0:38:11	58ページの地点③10-7盆地奈良県俵本調査過程につきましては、前回購買層圧に関しましては、
0:38:21	括弧、括弧書きで評価しておりませんでした、
0:38:24	12cmと評価しております。
0:38:27	変更したページを
0:38:37	マイクが入って、
0:38:38	すみません。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:38:41	はい。
0:38:45	補足資料の 73 ページをご参照ください。
0:38:56	補足資料の 73 ページ。
0:38:58	に関しましては、
0:39:01	サコス、
0:39:03	300 基のテフラに、
0:39:06	に対比される下がって火山灰が層圧 12 センチ、
0:39:10	株 3 センチ中部 3 センチ頂部 6cmに分けられると報告されておりますが、
0:39:18	前回と前回の報告から、
0:39:22	考え方を換え性状から 3 層に細区分されるものを一括で評価し、12cmと評価しております。
0:39:30	74 章、補足資料の 74 ページを御確認ください。
0:39:36	補足資料の 74 ページに関しましては、
0:39:39	ほぼ同地点で報告されている文献になりますが、
0:39:44	論文中に具体的な層圧が明記されて、
0:39:47	いないことから 0cmと評価してはりましたが、吉川ほか 1986 に基づき、本システムの 12cmと評価しております。
0:40:08	補足資料の
0:40:10	83 ページ以降が実調査結果を明示した資料になっております。
0:40:17	前回からの資料からの
0:40:21	変更点としては地質境界線が黒線から調整にかかっていることなどや、
0:40:30	変更点を
0:40:31	があります。
0:40:40	補足資料の 92 ページを御確認ください。
0:40:50	補足資料の 92 ページは、
0:40:52	広島県北東部遠山周辺の地質調査結果。
0:40:56	を明示しております。前回からの変更点としては、赤文字で示したように変更も、
0:41:02	記載の適正化が行われております。
0:41:06	本地点では、現地調査の結果、
0:41:09	地点 4 項において、層厚が 30cmと評価しております、
0:41:14	この結果をもとに、
0:41:17	既往文献 70cmと報告された地点を参考扱いとし、
0:41:22	33 本地点では 30cmと評価補足資料の 96 ページを御確認ください。
0:41:33	補足資料のページ 6 ページに本試験の結果をまとめております。

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:41:38	赤文字が前回からの変更点となります。
0:41:43	4 ポツ目に示す通り参考扱い理由とした理由としまして、
0:41:49	イマムラ 1987 で報告されている山脈のテフラの層厚 70cmについては給源からの距離に対し、周辺の勾配厚さと比較し、突出して大きく方が 1. 代表性を示す層厚とは考えがたいことから、参考扱いとし、
0:42:04	当該地域における 300tの適用の購買層圧は地質調査によって確認した層厚 30cmを採用して評価することといたしました。
0:42:15	その結果をもとに、
0:42:17	黄色ポチでして、黄色の箱枠に示す通り 300 のテフラの層圧は本日本周辺では 30cmと評価しております。
0:42:26	次に、補足資料の 97 ページを御確認ください。
0:42:36	補足資料の 97 ページに関しまして以降に関しましては、
0:42:41	同様に廃止右側 1987 で報告されている。
0:42:44	層圧が 155 センチの、
0:42:48	報告地点の調査結果になります。
0:42:53	こちらに関しましては前回のヒアリングに関しまして、
0:43:00	岡山。
0:43:01	炉寒い時期の適用の層圧を決定した根拠を説明することのコメントを受け、
0:43:08	露頭の記載情報をより詳細に
0:43:12	資料を作成し直しました。
0:43:19	順番に説明していきます。
0:43:21	結果、補足資料の 99 ページを御確認ください。
0:43:30	前回からの変更点といたしまして、3 税金のテーラーを確認者ろうとをPP2で、
0:43:38	ご紹介しておりましたが、改めて調査を行った結果、
0:43:43	Pさん。
0:43:45	日右図の右上ページの地形図を確認いただきたいのですが、改め、さらに 300 の寺岡 8 確認者ろうととして新たにPさを加えております。
0:43:59	次の 100 ページにD値のを当然系及び
0:44:04	を示しております。
0:44:10	PTについての
0:44:13	地層の解釈線なしの写真と、
0:44:16	その開削線ありの写真を 101 ページに示しております。
0:44:23	改めて、
0:44:25	詳細観察をした結果、102 ページに示す通り、

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。  
 発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:44:29	この地点では上位から黒ボク火山灰質のシルト括弧シルト数 3 便益のテフラ層厚 30cm火山灰数を
0:44:38	左折シルト質を販売する年度数ループ花崗岩強風化を確認しております。
0:44:45	前回から、
0:44:46	市実数
0:44:48	進もう層序が変更になっております。
0:44:52	30km程度は褐色を呈しφ5mm程度の軽石含みI2mm程度の鉱物が認められ、三陸予定浦和を褐色を呈する開始したい部分が、
0:45:04	前回、前回の説明では褐色を呈する軽石主体部分のみを 300 のテフラとして評価しておりましたが、
0:45:12	その範囲、その上位に不均質に混在する部分を今回を合わせて評価し、層圧を 20cmから 30cmに見直しております。
0:45:23	31 のテフラの上位または下位に分布する火山灰すど、
0:45:27	は褐色または短を褐色を呈し 300 の定義ウラン特徴的な下肢の式市長とは異なり、これらはロスレス労務などの不正堆積物や周辺から供給された崩壊度などの二次的体制器物重なるとか考えております。
0:45:45	103 ページには、各早々のセッション写真を明示しております。
0:45:51	次に、104 ページに、次 104 ページに、
0:45:56	帯磁率測定結果を明示しております。
0:46:03	体重計率結果を参照しますと 300 のテフラとしている帯磁率は、
0:46:09	10 のマイナス 3 のオーダーであり、ほぼ一定の値を示す。
0:46:13	しており、3 でいくによってぐらいの上位または下位に分布する火山灰層の帯磁率は 300 のテフラに比べやや低い値を示しており、
0:46:23	火山層の上位下位に分布するとその下位に分布する火山灰する及び年度数及び風化花崗岩の帯磁率は 300 の的に比べ盤オーダー程度低い結果となっております。
0:46:35	次の 105 ページにp2 地点の
0:46:37	記載になります。
0:46:41	こちらにつきましても上位から黒ボク火山灰出動括弧シルト質火山灰出動歳入冊数 300 のテフラ層は層厚 40cm火山灰出動国際流さす火山灰手動粘土層確認しております。
0:46:56	こちらにつきましても、前回、
0:46:59	説明は歌手肯定する開始したい部分を 30cmと評価しておりましたが、その上位に分布する不均質に混在する仮処分不均質に混在する範囲を合わせて評価し、層圧を 40cmと見直しております。

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。



0:47:16	この見直した根拠につきましては、
0:47:19	107 ページ以降に示しております。
0:47:22	その接写写真及び実体顕微鏡を観察した結果に基づく評価となっております。
0:47:31	P2 地点で確認した実態金利今日観察からいえることとして、108 ページの
0:47:38	左下の左右下の箱書きに観察結果を明示しております。
0:47:45	3bのTephraとした接写写真 3 は、軽石に富上位階層に比べ粒径の鉱物の粒径が大きいことを確認しました。
0:47:53	また、三陸のテフラより下位の火山灰数動粘度数接写写真 5 に相当する箇所に関しましては、バブルがあった火山ガラスが認められることから、
0:48:04	atぐらいの火山灰を含むと考えられるため、既往文献で示される層序に整合しする結果となっております。
0:48:15	次に 109 ページに帯磁率結果を明示しております。
0:48:20	p2 に関しましても 300 の的な帯磁率は、
0:48:25	支店PT2 よりも、
0:48:27	やや高い傾向を示し、10 のマイナス 2 程度であり、ほぼ一定の値を示しております。
0:48:34	300 キロ程度の上位または下位に分布する火山灰質の帯磁率は 300t の適用に比べやや低い値を示しております。
0:48:42	三陸のテフラの下位に分布する火山灰数の帯磁率は試算できるというのに比べ半分以下の低い値を示しております。
0:48:52	次に追加さp3ーについてまとめた資料を 110 ページ以降に示しております。
0:48:59	こちらの値につきましては、林三浦 1982 で報告されている相似に近い
0:49:07	応答として、
0:49:09	年とする。
0:49:10	300 のテフラの下位に分布する火山灰する粘土質のさらに下に冊数角礫層が確認された露頭であります。
0:49:23	こちらにつきましても、
0:49:24	既設写真を掲示しております。
0:49:28	113、113 ページを御確認ください。
0:49:34	113 ページには、
0:49:36	P3 地点の帯磁率を明示しております。こちらにつきましては、三陸の沖側の帯磁率は 10-3 オーダーを示した 309 のテフラの上位または管理に分岐する火山灰層の帯磁率は 300 のところに比べやや低い値を示しております。

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:49:52	300メートルの下位に分布する火山灰数の対立は300年というのに比べワンオーダー程度低い結果となっております。
0:50:01	以上の調査結果をまとめたし、
0:50:03	ものが114ページになります。
0:50:08	赤文字で
0:50:09	書きかえたところが今回、
0:50:11	書きかえたところになりまして、大志未来地球8年に示される岡山県北西部の詳細なろうと地点
0:50:18	が不明なため、当該地域において地表地質調査を実施しました。
0:50:22	踏査の結果、林道沿いのP1から3及びP2及びP3において300のテラーが認められ、その層厚は最大40cmであることを確認いたしました。
0:50:33	またこの地点は、町田新井2011は300tの適用の等層圧線図作成するにあたり、廃止ぐらい地球87運用処理が当該地域は町田新井2011の等層圧線図-50cm以下の範囲に位置すること。
0:50:48	常勤を踏まえ、廃止未来地球8なり報告されている3ページの適応の層圧155cmについては給源からの距離に対し、周辺の勾配厚さと比較しつつ思想圧が大きく、当該地点倍表性を示す層圧は考えがたいことから参考扱いとし、
0:51:04	当該地域における3匹のテフラの降灰層厚は地質調査によって確認者最大層圧40cmを採用して評価しております。
0:51:18	補足資料の116ページを御確認ください。
0:51:27	こちらに関しましては前回のヒアリングで続く
0:51:31	づくの露頭調査データを拡充するようコメントがありまして資料を最新しております。
0:51:37	刷新しております。
0:51:41	補足資料の116ページ。
0:51:44	服部1978は5万分の1図版か右側見地域の窒素作成処理第四期火山灰が岡山県北西部の複数地点によって微分値等火山灰が三瓶山由来の可能性があると報告しております。
0:51:58	アプリは
0:52:01	紙がない地域。
0:52:02	の第4火山灰層について、道路の寄与割合は峠の露頭の再常備帯、
0:52:07	帯か褐色の氷結していないルーズなかりせ層が時折見られると報告しており、
0:52:15	第四期火山灰の報告書のプロット
0:52:17	プロットしております。
0:52:19	この結果を踏まえ、117ページを御確認ください。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:52:26	アプリ支給七、八が報告している紙は未地域の第四期火山灰堆積報告地点周辺において地表地質踏査を実施し、第四期火山灰層の分布状況を確認することといたしました。
0:52:39	次の 118 ページには、
0:52:43	岡山県北西部及び鳥取県セーブ
0:52:47	日南町宮内付近、知覧町回復地点日南町神谷付近の 4、4 地点において、地表地質踏査を実施いたしました主な地表地質踏査ルートを示しております。
0:53:03	まず、110119 ページを御確認ください。
0:53:12	119 ページには、
0:53:14	岡山県北西部の人に信号付近の調査結果を明示しております。
0:53:20	こちらの地点につきましては、前述した地質調査結果の通り、インド造園屋PT 1 からp3 において、3 部駅のテフラが認められ、その最大その層厚は最大 40cmであることを確認しております。
0:53:34	アプリ地形七、八による耳信号付近の第四期火山灰層は地質調査結果を踏まえると、300 のテフラの可能性が高いと考えられますが、
0:53:45	アプリの解析報告視点を中心に、
0:53:49	地方自治庁地質踏査を実施し、第四期火山灰の分布状況を確認しました。
0:53:55	次の 120 ページから
0:53:57	124 ページには、
0:54:00	各地点を踏査した結果の写真を明示しております。
0:54:07	なお、服部は、本地点において、
0:54:10	右のにおいて段丘礫層を覆う火山灰が認められると報告しておりますが、
0:54:17	その地点が、
0:54:20	②で示した地点に相当しますが、その 1 点確認した結果、
0:54:25	表層付近までまさかの進んだ風化火山花崗岩が分布しており、その上位は腐食では薄く堆積処理火山灰層を確認できませんでした。
0:54:35	次の 121 ページを御確認ください。
0:54:42	服部の報告支援の南方に置いて競争
0:54:48	今日、小規模な表層滑りの滑落外をにおいて段丘礫層を確認しましたが、その上位に火山灰層は認められません。
0:54:57	でした。
0:55:02	①から⑦まで調査した結果、この時点ではD値がPさんを除いて、火山灰層が確認されない結果となりました。
0:55:11	次に 125 ページをお願いいたします。

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:55:17	125 ページには、服部。
0:55:20	服部市末七、八が育つ 100cm 以上の場合は、火山灰が認められるとされている地点になりまして、この地点を中心に幅広く地表地質踏査を実施いたしました。
0:55:32	主なルートは赤いルートで示しております。
0:55:36	その結果を 126 ページから 133 ページに写真を明示して消火を示しております。
0:55:43	前回のヒアリングにおいて、
0:55:54	前回のヒアリングにおいて段丘礫層を段丘関係相当見られるものが暖気チケット見られるものがあるという指摘踏まえまして、
0:56:04	①と②を御確認ください。
0:56:10	①と②は前回の
0:56:12	ヒアリングでばんけい地形が認められるといった周辺の地域になっております。
0:56:18	本地点では、
0:56:20	本地点の斜面には、
0:56:21	3 分、古生代の 3 号平成がんが運転しており、火山灰層が確認されませんでした。
0:56:28	斜面の情報を示したのが①の写真になります。
0:56:33	こちらについては部屋部位になっており、火山灰層は認められませんでした。
0:56:39	その他の地点を確認いたしましたが、
0:56:41	火山灰層は一切確認できない。
0:56:45	確認できませんでした。
0:56:50	次に、135 ページを御確認ください。
0:56:57	135 ページは、
0:56:59	一番超過宮城付近の地調地質踏査結果を示しております。
0:57:05	本地点はアプリによると育つ 50cm 以上の第四期火山灰層が認められるとされております。
0:57:11	するため、
0:57:13	告知を中心に幅広く小テスト操作を実施し、
0:57:17	状況確認いたしました。その結果を 136 ページから
0:57:22	140 ページに明示しておりますが、写真でイメージしておりますが、火山灰数を確認することはできできませんでした。
0:57:33	分布しないことを確認いたしました。
0:57:37	次に、補足資料の 141 ページを御確認ください。

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:57:45	141 ページ以降は、
0:57:47	アプリによると、
0:57:49	1 難聴紙副地点になりますが、本支店は層圧 50cm 以上第四期火山灰層が認められた報告されている地点で、本地点を中心に幅広く地教地質踏査を実施し、第四期火山灰層、
0:58:02	を確認することといたしました。
0:58:05	141 ページの
0:58:07	右図に、右図の地形図に、
0:58:09	白抜きの黒丸で示した地点で火山灰層を確認いたしました。
0:58:15	なお、
0:58:16	次の体積報告支店きわめ要件残の北西斜面に分岐するパリの斜面に遷緩線付近に位置しております。
0:58:24	次に 142 ページをお願いいたします。
0:58:30	当該地域では、
0:58:32	当該地域で黒丸で示したところで火山灰層を確認いたしましたが、谷沿いの林道斜面には基盤側の流紋岩それらの隔離今日含め土石流堆積物や崖錐堆積物が分布することを確認しましたが、
0:58:45	黒丸で示したところに局所的に分布する火山灰層を確認いたしました。
0:58:51	確認した火山灰層はその位置関係から服部 19-8 の報告地点の火山灰層に対応するものと考えられます。
0:58:58	写真で火山灰層の露頭周辺の状況と露頭全景を示しております。
0:59:03	次の 143 ページと 144 ページには解釈線なしの露頭全景写真及び
0:59:09	そうそうの解釈線ありの
0:59:12	写真を載せております。
0:59:14	144 ページを御確認ください。
0:59:18	本地点で確認した火山灰層は下位から冊数角礫層火山灰水道括弧させ火山灰する報酬とする。
0:59:26	改正堆積物を確認しをいたしました。
0:59:30	服部式七、八は火山灰層崖錐堆積物に覆われることも見られると報告処理等が 1 地域の性状と整合しております。
0:59:39	こちらで確認した火山灰質の冊数は大局的には四季調査が不明瞭なすり掃流里中流層の中の 5 層からなる上部四季調査が明瞭な層流里中流酸の 5 層から成る下部の二相に分けられ、いずれも時堆積運搬されたと考えられるそう状の堆積構造が確認されます。

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:00:00	方針における組織各層の詳細及び接写写真及び実体顕微鏡結果を次項以降に示しております。
1:00:08	145 ページを御確認ください。
1:00:13	145 ページに各そうそう。
1:00:16	の特徴明示しておりますが、
1:00:19	拡大の写真で見る。
1:00:21	確認できるように、
1:00:23	単層が 10cm以下で、
1:00:26	縞状に堆積してるのが御確認いただきます。
1:00:29	さらに、
1:00:31	市場指向するロスが、
1:00:34	確認されます。
1:00:38	次に 146 ページに、
1:00:40	各槽層の接写写真及び実体顕微鏡写真結果を明示しております。
1:00:48	147 ページを御確認ください。
1:00:54	147 ページには、
1:00:56	観察結果を明示しております。
1:00:59	本地点で確認した火山灰出動察するに含まれるクロムは剥離し、
1:01:04	積層構造ほとんど残していない。
1:01:06	こと、また、火山灰数を指すの中立な層に含まれる角閃石の一部が破断し短柱状示すことから、
1:01:14	これらの苦労も角閃石の形状は維持運搬の過程で摩耗した結果形成されたものと考えられ、現位置での堆積物ではないと考えられます。
1:01:25	また、火山灰数を指すの下部の配慮を呈する中流砂層では、
1:01:29	開始が含まれていないことから、火山灰する冊数の下部の明瞭な四季調査は株主の有無によるものと考えられます。
1:01:38	ただ火山灰水道達するの駐留砂数は 1 人ずつな数に比べ時鉄鋼を含む、含まれる傾向は認められました。
1:01:46	質問 148 ページを御確認ください。
1:01:52	148 ページに帯磁率結果を明示しております。
1:01:58	火山灰水道括弧さすの帯磁率の範囲は 10 のマイナス 2 か 10 のマイナス 3 のオーダーでばらつきが認められ、深度方向の緩やかに変化することが認められます。
1:02:10	火山灰する冊数は人日の通り、掃流里中流酸の互層からなりますが、両層の帯磁率を比較した結果、グラフで示した。

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:02:19	グラフで示す通り四角に囲った線が掃流砂層厚のバツが駐留少なそう明示し、
1:02:27	なっておりますが、両方を比較すると。
1:02:30	バツで示した中流する断層はやや高い帯磁率を示しております。
1:02:36	取りそろえ傾向は顕著であることから、この結果は顕微鏡観察で掃流砂の層に比べて中立なその二次鉄鉱が多く含まれていたことと整合しております。
1:02:48	また、岡山県北西部、
1:02:50	市にミッシング大きいにおいて降灰層厚として評価した 300 のテフラの帯磁率
1:02:56	10 のマイナス 2 のオーダーではほぼ一定の値を示すのに対しての火山灰水道は最下部で 10 のマイナス 2 程度を示すもの、それより上位では 10 のマイナス 3 オーダーとやや低い値を示すことから、
1:03:10	この結果は再堆積に依頼者特徴と考えられます。
1:03:15	次に、この資料 149 ページをお願いいたします。
1:03:21	本ページが本試験の
1:03:23	まとめとなります。
1:03:25	本地点で地質踏査を実施した結果、
1:03:30	周辺の
1:03:31	斜面には基盤の流紋岩、その確率を含む土石流堆積物や崖錐堆積物が分布しており、局所的に分布する火山灰層を確認いたしました。
1:03:42	この火山灰層は下位から冊数角礫層火山灰水道括弧させ上部下部火山灰するシルトする崖錐堆積物から成り、服部の報告内容。
1:03:54	そして、火山灰層が崖錐堆積物の壊れると生まれるのコメントと整合しております。
1:04:01	この火山灰するおお津冊数を詳細酸素観察した結果、2 次運搬されたと考えられるそう状の堆積構造が認められること、また、実体顕微鏡の観察の結果、クレームの剥離や食わ角閃石の破断が認められること。
1:04:16	さらに岡山県北西部の第Pにおいて降灰層厚として評価した 300t の適用帯磁率と比較するとか、ほぼ一定の値を示すのに対し、本火山灰水道括弧さすは最下部で 10 のマイナス 42 の示すもの。
1:04:33	それより上位には 10 のマイナス 3 のオーダーとやや低い値を示すことから、この地点で堆積した火山灰は最低再堆積依頼者特徴と考えられます。
1:04:43	以上の結果をもちまして、本地点で服部が報告資料鳥取県西武管理費苦心で確認された火山灰層は再堆積依頼者特徴を示しており、購買層厚として評価できない地点であると判断しております。
1:04:57	151

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:04:58	ページを御確認ください。
1:05:03	150 ページづくに関するのまとめを示しております。
1:05:07	1 ポツ目として、服部 1978 が報告している上組地域の第四期火山灰堆積報告支援周辺において地表地質踏査を実施し、火山第四期火山灰層の分布状況を確認いたしました。
1:05:20	その結果、岡山県北西部につきましては地質調査の結果、インド沿いのPT1 からp3 において、3 ページのテフラが認められ、その層は最大 40cm であることから、服部が報告している第四期火山灰層は地質調査結果を踏まえると、300 のテフラの可能性が高いと考えられます。
1:05:39	また服部式の 8 により層圧 50cm 以上の第四期火山灰層が認められるとされている鳥取県セーブ 1(1) 団長紙付近において、火山灰層を確認いたしました。
1:05:51	確認した火山灰層は再堆積に依頼者特徴を有しており、購買層圧評価式できないと判断しました。
1:05:59	その他の値堆積報告時点では、火山灰層は確認されなかった。
1:06:05	そういう結論としてまとめております。
1:06:09	以上が、
1:06:10	説明になります。
1:06:16	規制庁クマガエです。ご説明ありがとうございました。
1:06:20	もしは聞こえてますでしょうか。
1:06:25	中国電力の今村です。音声聞こえております。
1:06:28	はい、規制庁クマガエですありがとうございます。
1:06:31	それはちょっと
1:06:33	大きな話は私のほうから何点かささせていただきます。
1:06:36	あと、
1:06:37	最初に、
1:06:39	一番最初に御説明があった第 4 紀火山の抽出についてなんですけれども、15 ページのところ御説明いただいたところでは、
1:06:47	地質調査総合センターがもう最新のものなので、
1:06:51	それに基づいて全部
1:06:53	抽出されたという御説明だったんですけれども、
1:06:57	この資料を見ますと、その意識を化とか中野ほか、
1:07:01	地質調査総合センターこの三つに基づいて、
1:07:04	抽出にあたってはその三つを用いたというふうにあるんですけども、ここら辺の関係はどのようにされてるのか。

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。



1:07:11	教えてください。
1:07:16	はい、中国電力の田中です。抽出にあたってはですね漏れがないの漏れがないようにという観点ですね幅広く確認をしているという意味で認識ほか中野ほか編を残したような形で記載をさせていただいておりますけれども、実態としてはこの地質調査総合センターのWebの方で、
1:07:34	ほぼ包絡ができると思いますので、もうできますので等はその記載だけでも、よかったのかもしれませんが。現状としては、漏れがないように確認したという意味合いですべて書かせていただいているというものでございます。以上です。
1:07:49	規制庁クマガエです。はい。状況は
1:07:52	わかりました。ありがとうございます。
1:07:55	続きましてですね
1:08:01	今度
1:08:03	それぞれ三番のところ、
1:08:09	それで、実際にそれぞれの勾配報告地点について、地質調査をいろいろと
1:08:14	していただいているんですけども、
1:08:17	これらの中で、
1:08:19	結局
1:08:21	当 70cmで 155 センチという
1:08:24	算定式のちょっと大きなところがあった。
1:08:27	ところについては、それぞれ
1:08:29	現場の方確認をされて、
1:08:31	どちらにおいてもその周辺の
1:08:34	購買厚さと比較して提出して、層圧が大きいので、
1:08:38	その当該地点の
1:08:40	代表性を示す喪失と考えられるん考えがたいと
1:08:44	いうことで、それぞれ除外をされてるんですけども、
1:08:49	これ、一部そのそれぞれの調査結果のところでは
1:08:55	大きい負ところ地点についてはそれぞれ見つけられなくて、
1:09:00	周辺のところだけは確認されたと。
1:09:03	ということなんですけども。
1:09:05	これは周辺のところについても何か再堆積の状況とか、そういった
1:09:11	ようなものが確認されたりとかってなされてるんでしょうか。
1:09:28	中国電力の今村です。
1:09:30	どう山宗に関しまして広域的な踏査をした結果、再堆積を向か認められるような

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:09:37	あとは見つけれられておりません。
1:09:40	お尋ね確認者露頭では 30cm以上の層圧を示すような火山灰層は確認できしておりません。以上です。
1:09:51	規制庁クマガエです。はい、ということは
1:09:55	本当に
1:09:57	155センチとか 70cmというのが、
1:10:00	本当にそこだけ。
1:10:01	特異点だったというふうに評価されてるという、
1:10:06	ことだったと思いますそれでよろしいでしょうか。
1:10:11	中国電力の今村です。その認識。
1:10:15	です。はい。
1:10:16	その認識で。
1:10:20	はい、ありがとうございますそれであともう 1 点だけ確認ですけれども今回、
1:10:25	図服の
1:10:27	服部 1978 の図をもとに、
1:10:30	実際調査をされていて、
1:10:33	現場をいろいろ見られているんですけども。
1:10:36	結果として、その火山灰層が認められないということで、
1:10:41	実際どういったものなのか確認できていない状況だと思うんですけども。
1:10:47	そういった中で、
1:10:49	この図服のデータ自体をですね。
1:11:00	購買層厚としては評価できないと。
1:11:03	いうふうに
1:11:05	された結論の
1:11:08	考え方としてですね、どういうふうにされてるのかというのをもう一度お願いいたします。
1:11:18	はい中国電力の田中です。それでは 100 補足説明資料の 117 ページと 118 ページをお願いしたいと思います。
1:11:30	はい、改めてっていうのをつく説明になるかと思いますが、第四紀火山灰の層圧として、赤とか黄色緑のプロット衣装示しているようなものがづくでも示されていたというものでございます。これは第四紀火山灰という記載のみでございまして、
1:11:46	第 4 件耐専期限なのか、それとも三瓶山期限なのかっていうのを作りの中でも言及されていなかったという中で、今回調査をしたというものでございます。

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:11:57	118 ページのほうに見ていただきまして主など、地質調査ルート等担当されるということで赤色の線でお示しておりますけれども、今回こういった形で非常に埋まる等まあ露頭自体はですねたくさんあるんですけども、網羅的に見た上で、
1:12:13	結局あったのが紙副という地点のみでかま確認されたという状況であったということです。
1:12:18	こういった形も踏まえましてですね、例えば日南町の宮内ではもともと 100cm 以上という結果が報告があったわけですけども、こういった形で網羅的に見た上で、
1:12:34	全く見つからなかった調査が不足するんじゃないかという御指摘はもしかしたらあるかもしれませんが、こういった形で網羅的に見た上でないってことは、その地点の代表性を示すようなものではないというふうに我々としては判断しております。
1:12:52	その旨のことはですね、110、失礼しました。
1:13:00	どこに書いていると。
1:13:02	少々お待ちください。
1:13:11	ちょっとそ申しわけございませんねと。
1:13:15	結論のところは 150 ページにあるんですけども補足説明資料のところの
1:13:20	はい。
1:13:22	ここには水申し訳ございませんその旨はそこまでとはっきりと書いておりませんけれども、解釈としては、その地点の代表性を示すような
1:13:33	なんで火山灰の層圧ではないというふうに我々としては書いて考えているというところでございます。
1:13:41	で、もう 1 点の 150 ページのほうで除熱失礼しました、もう 1 点の後神この視点で今回、火山灰層見つけたということでございまして、塗装調査結果につきましては 141 ページ以降ですね、御説明の 141 ページ以降の方にお示しておりますけれども、
1:13:59	° もわかりやすいのは、そうですね、145 ページになるかと思えます。
1:14:04	こういった形でいわゆる複数の層に分かれておりまして、いわゆる再堆積の営堆積構造と示しているということでございますから、これにつきましては、総厚を決定するような露頭ではないということで評価をさせていただいているというものでございます。
1:14:21	説明になっておりますでしょうか。以上です。
1:14:29	規制庁クマガエです。
1:14:33	は、

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:14:35	結論としてはそれぞれ調査をして調べてみたけれども、明確に
1:14:41	きちんと
1:14:44	300 基のテフラについては確認ができなかったと。
1:14:48	いうことで、
1:14:49	それぞれのところでは火山灰層ですから、確認されなかったと。そこはいろいろと調査をした上でそうでしたということだったと。
1:14:58	いうことでしたけどこの実際調査をしてなかったっていうのがですね、
1:15:04	ちょっと、
1:15:08	わかりづらいところがありまして、例えばその補足の 58 ページのところでは、
1:15:13	文献調査と地質調査した場所がそれぞれ示されてるんですけども、
1:15:19	それはこれでそれぞれ確認されたところ、
1:15:23	示されてるんですけども。
1:15:25	確認調査したんだけど見つからなかったというところについては、それはそれでそういった調査結果かとは思いますが、そういったものも示していただければと思っております。
1:15:41	15 年中国電力の今村です。
1:15:45	承知いたしました。そのように、
1:15:47	地質調査の欄にづくり確認者
1:15:50	調査結果を示すように修正いたします。
1:15:56	以上ですはい規制庁クマガエですね、先ほど重複のところはどうまとめたのといった結論なのかっていうのをちょっと記載が足りなかったところがありましたので、そういったところについてもきちんとまとめていただければと思います。
1:16:14	中国電力の今村です。補足資料の 150 ページのまとめに関しては記載の適正化を図りたいと思いますといったしました。
1:16:38	規制庁ナイトウですけども、まず資料の構成としてこの 3 弁付近のテフラの降灰の話、現地踏査をやっていいといろいろ調べてきました。
1:16:50	っていうデータがダーと並ぶんだけど。
1:16:55	それはそれでいいとバックデータとして重要なんだけど、皆さんとして何を主張したいんですか、そこがよくわからない。
1:17:04	これは何のためにやってるんですしたっけ。
1:17:09	はい中国電力の田中です。補足説明資料の 55 ページをお願いいたします。
1:17:18	前回のヒアリングの中でもご指摘ありました調査し、調査地点の選定の考え方も含めて整理することといったお話もありましてこの 55 ページに整理をさせていただいておりますけれども、我々としては、

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:17:34	55 ページのグラフのほうですね算定式の方見ていただきますと、算定式を超えるところが幾つかあるというところで、どの辺りのA地点の評価層圧が重要になってくるかっていうふうにそこを再整理させていただいております。
1:17:52	御人口提示の文献調査のところ 2 ポツ目には書いておりますけども、澤邊さんから地基地までの距離が 55km というところと、今回のこの算定式を計算のコントロールポイントっていうのが 61 キロということもございまして、当三瓶山から敷地に相当する範囲というふうでハッチングさせていただいておりますけれども、
1:18:11	具体的な場所としましては、広島県の北東部の道具山周辺だったり、北西部の認識、岡山県北西部の任務信号のこの辺りの地質調査結果というのは別途評価する上で、総厚を評価する上で重要であるというふうに認識をしております。
1:18:28	そういったもので洞道釜とか、信号の調査を今回行ったというものでございます。
1:18:37	集中ナイトウですけども。
1:18:39	刀禰。
1:18:41	であればそういう形で資料をきちんとまとめて欲しいんですけど、皆さんの理解としては、まずは文献で言われてるやつとかも含めて露頭調査も含めて
1:18:55	露頭調査も含めて、このフィッティングラインを引いたんですが、このフィッティングラインをどう引いたんだけれどもっていうところですよまずこれ、
1:19:04	新井町田の 50 で引いたんでしたっけ。
1:19:09	皆さんの目とわかんないんだよ、新井町田の 54 をコントロールポイントとして、どういう形でしたんですか、まず、その上で、当発電所との三瓶山との距離の関係でいくと。
1:19:24	それで、当やろうとするとこの範囲がよく合ってるかどうか重要なのでその範囲について、露頭調査も含めて、
1:19:34	各文献で指摘されてるやつを含めてこの範囲に入っている地点について、
1:19:43	現地踏査を行ってましたっていうことなんでしたっけ。
1:19:51	はい中国電力の田中です。その通りでございます。
1:19:59	だよねとかそれぞれの文献とか増幅でもってこの含むの範囲に入っているところでこういうことを言われているのでということで求めてるんですよ。
1:20:10	そういう認識でいいですよ。はい、はいその通りでございますよとだとするとね何でも後ろの資料が図複に基づくものの調査を文献に基づく調査って分けて書いてるんですか。
1:20:22	どこの範囲に入っているところで、文献って言われている地域、

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:20:28	当図複に言われている地域はこういうふうになっていってもその部分についてきちんと調査をした結果として、それぞれ言われてるものと実際に皆さんが見てきたものと比較を検討した結果としてどういう結論それぞれの地点の土曜日結論に達しました。
1:20:45	ということを主張されたいんですね。なので、このフィッティングラインでいいんですってことを主張されたはずなただけど、資料いっぱいあります見てきましたらどうでしょう、どういう資料構成になっていて、皆さんの主張がよくわからない。
1:21:01	中国電力の田中です。先ほど御指摘の通りですね、づくの範囲につきましても、ちょうど敷地から約 60kmとか 70kmぐらいの位置に相当当たりますので、そういった観点では、我々がしっかり見るべき露頭ということで、
1:21:18	あるので、きちんとですね、づくの結果もですね、調査結果の中に落とし込むというのが今のお話を聞きましてそういうふうに我々も認識したというところがございます。手元の資料構成の考え方だけ御説明させていただきますと、
1:21:33	づくのほうにつきましては、第四紀火山灰層ということで、これは 3 べき原価はダイセキが何かよくわからないというふうなことで、図のほうもまとめられておりましたので、一般の文献で 3 秒付近のテフラと同定されているものとは少し切り分けた形で資料の構成をさせていただいておりますが、
1:21:53	先ほど申しあげました通り、そのあたりのね、資料構成のほうを再度見直したいと考えております。以上です。
1:22:01	はい、規制庁の後ですね、ちょっと皆さんの主張がね何なのかっての降水量についても、ようわからないのでそこをよく整理してもらいたと思います。特にねこれ資料構成で 55 ページでこういうかこういうところを調査しますと言ってから 56 ページで文献との対比をして早々の確認をしましたと言ってるんだけど。
1:22:19	これはあくまでも、この地点の総数の確認であって一番最初に来る話じゃないですね。
1:22:28	一番最初に広島県北部、の地層対比が出てきていて、これは何なんですけど全体の中の何を示してるんですけど、これは、
1:22:41	よくわかんないです位置付けか。
1:22:44	はい、中国電力の田中です。今ご指摘ありました補足説明の 56 ページかと思えますけれども、これも前回のヒアリングの中で 3 別途機能テフラをどのような形で同定されましたかという御質問があったときにありました。
1:22:59	もう 1 点はと地質調査として、もう少し給源に近いところでも調査してますけども、これはどういった目的で調査をされたんですかっていうふうなご質問がござ

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

	いました。これに対する回答として 56 ページに整理させていただいております、
1:23:15	この 56 ページにあるこの高尾地点といいますのは、この 3 秒付近のテフラが最も多く大変大きく堆積している地点でございます、いわゆる埋め合わせという観点で、こういった急減近い地点での調査を行った上で、
1:23:30	これが 3 秒付近のテフラだよねってことを合わせをしっかりと行った上でそのあとに、同号山へと 2 のほうでの調査を行ったというその調査地点の選定の考え方と、3 秒付近のテフラの同定の考え方の基本的な考え方をこの 56 ページに整理させていただいております。以上です。
1:23:54	規制庁宛ですけど。
1:23:56	御説明聞いてもよくわからない。これほぼ広島県のこの地点例は文献で言われてるやつと同じ早々でしたという話を言っている話であって、これがほかの地点の層相当、
1:24:09	ネオスでどうやってできるんですか。
1:24:15	はい。地方で年力のタナカです。部分部分を他の地点の文献のいわゆる模式柱状図と我々が見たものが必ず一致してるかどうかというのをという観点で見ますと、位置していない地点も見ているわけなので、
1:24:31	そういったそういった面では今のご指摘にはちょっと回答になってないと思うんですが、サンビュー機能テフラというものがどういったものかというのを見る上で、この層厚が厚いところで、こういった形で確認をいたします。
1:24:48	これが間違いなく 3 秒付近のテフラだろうということがこういった鷹野地点等でですね、確認ができるわけですから、その結果を踏まえて、ほかの地点に展開していたというストーリーでございます。以上です。
1:25:03	規制庁ナイトウですけど、いや、その説明聞いてもやっぱりわからない、この地点で文献で言われているところを言われている早々と合ってますっていう話が何でほかの地点もそうそう。
1:25:15	並びに
1:25:16	そうそうかつ違うところでもってこれが 300 キロだっという話になるんですか。
1:25:21	これはあくまでもこの地点において文献で言われてるやつでもってっていう話にしかそうすると間程度ならないですよ。
1:25:31	それが一番最初に聞いていて、これってどこその観点でいうところは個別地点でもって文献ですと言われているものと同じものの露頭であってこれが 30 件の文献のいわゆる 3 ベクレルと判断しましたっていうんだったら理解はできるんだけれども、
1:25:45	ほかの地点にどうやって使うんですか。

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:25:59	はい、中部電力タナカです。56 ページのですね、補足説明 56 ページの箱書きのほうにも記載をさしていただけてますけども、佐貫のテフラの特徴ですねその色みとか、
1:26:12	あとワー、どういった鉱物が多く入っているのかとか、そういったところは文献には示されていて、その情報だけで統合ヤマダとか信号のほうにいても多分素人だと多分わからないと思いますんで、資料と専門家でもそうなんですけどもまずやっぱり模式的なところ。
1:26:32	といたしますか、どういったものが 3 秒付近のテフラかっていうのをしっかり見た上で、他の地点にも展開していくことによって、これが 3 秒付近のテフラだねっていうふうな同定ができるというふうに我々としては考えております。以上です。
1:27:19	規制庁ナイトウですけれども、
1:27:22	説明聞いても、こういうこともやりましたっていう説明であれば理解はできるんですけども、これで何で 309- が特定できるのかって説明にはなっていないので、
1:27:32	そこはよく整理してください。
1:27:36	中国電力シミズです。56 ページの箱書きのほうに書いておりますけど、ナイトウさんおっしゃられる通りローカルな早々の話等をいわゆる 3 部付近の代表できる特徴の話がごっちゃになってますので、
1:27:54	そこら辺りをわかるようにしてですね、最初におっしゃられた 50cm から 7050kg から 70km 要は敷地に影響するところの調査をしとるんだということを常に念頭に置きながらですね、資料構成でさせていただければと思います。
1:28:21	規制庁タニです。私のほうを確認したいのが本編の 106 ページなんですけど、多分ここがこの 106 ページをしっかりと説明していただきたいんですけども、今話を聞いてて、
1:28:35	何となく言われていることがわかってきたんですけども、結局、何ていうんですかね、この図で 155 センチ、
1:28:44	のプロットが矢印で御社が調査結果したところなんか 40cm ですかね。
1:28:50	そういう値に評価をしましたとかいうのがですね、ここに何か全然書かれてなくて、しかもどこを見たらいいのかというのはなんか非常にわかりにくいんですよね。だからこのまあ簡単に地質調査、
1:29:07	により評価を実施し、
1:29:09	蒸気層圧を参考扱いとしたって、何か一言でちょっと終わらせずにどこにそれが書いてあって、どういう具体的な評価をしてるのかっていうのはちょっと落とし込んで欲しいなと思うんですけど、いかがですかね。

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。



1:29:25	はい、中国電力の田中です。補足する説明資料の一部をですね本編資料のほうに持っていくことによって、もう少し丁寧な説明をしたいというふうに考えております。以上です。
1:29:40	はい、お願いします。
1:29:43	あとですねさっきから確認しているのといってるようなところなんですけど、結局相双の区分をですね例えばする補足説明で各地点でですね 107 ページだとかで、
1:29:59	前回ヒアリングでちょっとどういったところ、
1:30:03	に着眼して分けたのかっていうのを聞いたんですけどこれ私 107 ページところ見ててもですね。
1:30:11	結局何を根拠に分けているのかがよくわからないんですよ。それでさっき
1:30:17	調整官の方からお話があったように、どうというふうに分ける根拠と繋がっていくのかっていうのか、この資料見てもよくわからないっていうところなんですけど。
1:30:29	例えば結局この 1.6 だったら何を根拠に上野相当
1:30:37	上の層っていうのがですね 107 ページの接写 2 で、
1:30:41	説明している相当下の 3 秒付近のテフラとしての接写さんですね、この
1:30:48	これが接写さんで説明しているところが 3 名浮き布テフラとしているのかっていうのを、
1:30:57	どこを見たら分かるかちょっと教えてください。
1:31:03	はい中国電力の田中です。数字でさまず 3 秒付近のテフラの典型的なものっていうのは、先ほどの補足説明の 56 ページで先ほど議論ありましたページに参りました通り、
1:31:19	こういった褐色を呈するようなそうそうをもう持ったものがこれ 309 テフラというふうに我々考えているというところで 56 ページの資料をまとめたというところがございます。まあそういった前段があった上で、先ほどご指摘ありました 106 ページになりますか。
1:31:37	補足説明の
1:31:40	そうですね。
1:31:42	すいません。一つ少し前のページになりますけども 102 ページのほうをお願いいたします。
1:31:53	はい。これ信号で確認したそのうちのテフラの接写写真というのを右側にお示ししておりますけども、こういった生写真にあります通り、鷹野地点に見てきたものと同じものは確認されるというものでございます。

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:32:08	で創生の区分のはよくわからないねっていうおしっこ質問でしたのでP2の地点、これ106ページを例に御説明したいと思います。
1:32:20	はい。単純に言えばこの106ページの左側の解釈線の七島右側の解釈線あり僕これをどうやって引いたのっていうところが、ご質問かと思えますけれども、先ほども御説明しちゃったりしました通り、雪のテフラの典型的なものがこの褐色を呈するものということで、
1:32:37	106ページの解釈を見てもらえばと思いますけども少し黄色っぽいそうそう層序のものが入り込んでいると思いますけどもこれ大きいテフラというふうに同定をしております。
1:32:48	もともと実は前回の資料では30cmと御説明しております、この黄色い部分がどんだけの冊あるさわるかということで30cmということで被水保守お示しをしておりましたが、その黄色い部分のですね、ものがですね。
1:33:05	不均質にその少し上位の部分にも混在しているということを露頭観察を詳細に行いまして確認ができました。そういった黄色い部分がどこの部分までも混在するかっていうところをメインで聞いたのが今回この
1:33:21	3秒付近のテフラと火山灰出動の際硫酸室の境界にこの白い波線で書いたところが、その協会になりますんでそういったものを踏まえて今回40cmと評価したということでございます。
1:33:33	その考え方につきましては、105ページの箱書きのほうに記載をさせていただいております。
1:33:42	はい、105ページの箱書きの2ポツ目のほうにまずそのテフラの色の話とか、鉬物のKとか軽石の計というのを記載させていただいております、3ポツ目のほうにその層厚の考え方を書いております。
1:33:55	褐色を呈する軽石主体部分が層状に分布する範囲とその上位の不均質に混在する範囲を合わせて40cmと評価したということで、そういうふうな形にさせていただいております。
1:34:08	入ってその上の上位の部分の火山灰何なのかということにつきましては4ポツ目に記載しております通り、いわゆる不整堆積物とか崩壊等に相当するものであるというふうに記載させていただいております。
1:34:20	これが総層の分け方の基本的な考え方でございます。以上です。
1:34:27	規制庁投入す。
1:34:29	説明は、要するに105ページをもうに見て欲しくて、それは何かいい色、色みを特に見ているんだというような説明、あとはだから軽石

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:34:42	家があるかないかで判断しているってということなんですね。つまり 107 ページ 108 ページってというのは、この私位置付けがわからなくてこれをもってこの脚 780 根拠 2 部、分類したとかではなくって、
1:34:58	露頭で見たのを分類をこういうふうを確認したっていうふうな資料だっていうふうな位置付けで、
1:35:05	とらえていいんですかね。
1:35:09	はい、中国電力の田中です。もうまさにタニさんが言われる通りのことで位置付けで顕微鏡観察とかまた接写写真をお示しているという状況でございます。以上です。
1:35:23	何かその辺がわかるようにして欲しいんですけど、つまりはもっと言うと 109 ページの帯磁率に関しても目視で見たものが困難とこんな感じでしたっていう説明にしか使っていないって、
1:35:39	何ていうんですかね。
1:35:41	これを何か根拠にしているわけじゃなくて、CAQ確認したんですよっていうような整理ということですか。
1:35:52	はい、中国電力の田中です。その通りでございましてもともと認めるわけでしたそう層区分と帯磁率の結果も概ね整合していることを確認したということでございます。以上です。
1:36:09	はい規制庁谷です。説明今ちょっとそういう、そういう説明の内容の見方でちょっと資料確認するようにしますが、まずその本当に何をですね根拠に分けているのかっていうのをですねしっかりそのなんて言うんですかね
1:36:26	もう敷地みたいなのも見てるんだと思う敷地じゃないのか、ちゃんと早々の確認も行かれたっていうの。
1:36:34	ところなんだと思うので、その辺との関係を整理して説明していただきたいのと、あとですね僕ちょっと 107108 ページの記事をこういった
1:36:44	来細かい話なんですけど、見ていくとですね、何か国会ってあることが、例えばですよ。例えば接写①では階層等は漸移的に変化する。
1:36:55	で、
1:36:56	例えば接写さんでは階層とは明瞭な境界をなすとかで書いてあるんですけど、これ何かすごく肝心の接写②ではそういうことが書いていなかったりとかですね、
1:37:10	例えば、
1:37:11	なんていう接写位置では軽石をほとんど含まないって書いてあるんですけども、接種者にではどうなのかとかですね、何か同じような記載でこう書かれていないので、これが一体どうなってるのかというのがとてもわかりにくく、

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:37:27	何かその辺もわかるように、
1:37:29	いけないもんですかねというところなんです。
1:37:34	はい、中国電力の田中です。ご指摘Tの通りですね記載の内容につきましてはそれぞれの設置者にちょっとばらつきがあるかと思しますので、その辺りの規制は適正化まわしたいと思しますが、現状のこの記載の内容につきましては特徴的なところというところで、
1:37:53	例えば、先ほどありました設置者の三番と4番につきましては、三番というのは典型的な家測定するものであってその階層はもう明らかに明瞭であるって、これはもう大きな特徴だろうということで、接写③とここにはそういった記載をさしていただいているというところなんです。
1:38:12	はい。ですから今セッションの2番のところに改装との関係が記載がないということでしたけれども、我々の先ほど説明しました通り、褐色のものがその上位の部分にも幾つか分布してて、その部分につきましても層厚として今回評価したということでもありますので、
1:38:30	書くとならば改装と漸移的に変化するといった記載がなるのかなというふうに今考えてるところでございます。以上です。
1:38:38	。
1:38:49	規制庁タニです。その辺のところわかりやすくしていただけたらと思うんですね、あとはわかりやすさという観点でいうと109ページの帯磁率なんかで言うと、何ていうんですかね。御説明では10のマイナス二乗という書き方をしたけれども、
1:39:07	また帯磁率は1.0E-
1:39:11	なんぼで書いてたりとかですね、もう少しちょっとこの辺、おわかりやすくしていただけたらと思います。よろしくお願いいたします。
1:39:22	中国電力の田中です。承知いたしました。
1:39:34	規制庁のカイダです。
1:39:38	私の方からも何点か確認をさせていただきたいんですけど、今ほどの議論と関係するところでいきますと、
1:39:46	まずは、
1:39:48	補足の
1:39:50	紙服の
1:39:51	評価がある140。
1:39:55	9とか150ページ辺りになるんですけど、
1:40:01	御説明を聞く限りではここは、
1:40:05	結局300機能かどうかはわからなかったけど、とりあえず火山灰が

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:40:11	あったという、そういう位置付けていうふうに
1:40:15	認識したんですけれども、
1:40:19	そういった文献でも、
1:40:22	300 かどうかも生きるのかどうかもはっきり書いてない中で、今回、
1:40:30	ここの説明っていうのはこの資料全体の章で見ると、浮き布の調査っていうところの中に入ってますんで、ぽっと入ってくると、昨日のこと言ってるくらいいるかのように見えてしまいますので、
1:40:44	だからそうじゃ機能とわかんなかったんであればそうであるっていうようなことをどっかに
1:40:49	海底、
1:40:50	いただければいいと思うんですけれども、その辺どっか書いてあるけどちょっと見逃してるのかどうかちょっとそこを確認したいんですが、よろしいでしょうか。
1:41:04	はい、中国電力の田中です。今回この上期の地点につきましては、再堆積の特徴を示した火山灰層というところまでの記載にとどめておりますので、企業ではあるとかないとかということまでは言及をしていないということでございます。
1:41:23	実際にはですね、こういったタニ部といいますか局所的にたまった、こういった堆積物でございます。株も各腐する各礫層があるということで層序関係が非常に不明不明確なところなので、これはちょっとウォーキング。
1:41:39	であるとかっていうふうに断定することがちょっとできなかったというふうな状況でございます。ですから
1:41:46	今御指摘があります通り、そのあたりですね浮き布ガーンであるとかどうかっていうところも確認できたのができてないのかということも明確に本部のほうに記載させていただきたいと思います。以上です。
1:42:03	わかりましたのでその辺の反映、よろしく申し上げます。
1:42:08	あと、少し戻るんですけれども、
1:42:14	本編資料でもう
1:42:16	いいんですが、
1:42:20	補足だと 55 ページにある御説明で、今まで何度か出てきている御説明かなと思いますんでちょっとこの表現ぶりの確認なんですけれども、70cmとその 155 センチっていうのがほかのもちょっと
1:42:40	比べて突出して大きいというふうな表現がされてます。
1:42:44	例えばですね、
1:42:47	5 キロぐらいのところこうバラバラとあるオレンジの参画っていうのは、

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:42:54	すごいばらつきがあって、20kmぐらいのやつも、それなりにばらつきがあつて、
1:43:00	でも、こんだけバラつきがあるっていう中で見ると、
1:43:05	今ほど言われてるん 155 センチの方は 1 個だけぽんと 1 上にあるんですけど。
1:43:11	70 センチの方っていうのは何か見ようによってはそのままばらつきの範囲の大きい部分ぐらいにも、
1:43:17	見えなくもないですが、この 70cmが突出して大きいというふうに
1:43:23	表現されてるのはどの辺りの
1:43:27	どういったことで、こういうふうに表現されているのかその事実関係を
1:43:32	確認したいんですが、お願いします。
1:43:37	はい、中国電力の田中です。補足説明資料のですね、ロック 64 ページをお願いしたいと思います。
1:43:51	補足説明資料 64 ページ、こちらは今ご指摘あります広島県北東部の動画の周辺の層厚 70cmに関する文献の内容になっております。こういったレベル間の文献でしたので審査審査で前回の審査会合につきましては、
1:44:09	非常に場所も不特定なのでちょっとこれは参考扱いにさせていただきますということを少し御説明したというところがございます。
1:44:16	それでは次 65 ページ、次のページ、65 ページをお願いしたいんですが。
1:44:22	これが先ほどの 64 ページと同じ調査が後程出している文献でございます同様の周辺で非常に点検調査されておまして、ここではですね、70cmの再堆積はあるっていうふうな記載はあるんですがそれ以外の層厚っていうのは大体 15cmから 30 センチ、
1:44:41	なんですねほとんどの地点がですからもこういった観点を踏まえまして 15 と 30 っていうのがえと大局的なこの地域、地域の育つんだなということを考えたときに、70cmというのは少し突出しているなという考え方で、
1:44:57	突出しているという記載をさせていただいているというものでございます。以上です。
1:45:04	規制庁の開催をどういう考えで書かれたかっていう、そこら辺の事実関係は
1:45:14	確認できました。
1:45:17	それとあともう一つなんですが、今日御説明のあった。
1:45:25	本編資料のほうでいきますと、
1:45:35	50 ページの
1:45:40	なんですが、
1:45:42	敷地周辺でSKはしか確認されてないから、しその辺のSKのデータのみを

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:45:51	プロットしましたっていうご説明
1:45:55	だったかなと思います。
1:45:57	で、
1:45:58	敷地周辺というのはここに半径 30kmの範囲っていうことで半径 30kmの線が書いてあって、この中にはSK
1:46:08	はい。
1:46:10	しかなかったんで、300 期限のSKしかなかったんだという御説明
1:46:14	かなと思うんですか。
1:46:15	例えば戦争の 100
1:46:19	104 ページとか、
1:46:23	いきますと、
1:46:26	敷地周辺っていう言葉がまた出てきて、
1:46:31	敷地周辺、
1:46:34	50cm等層圧線を敷地周辺で、
1:46:38	確認された実績層厚として考慮と。
1:46:43	で、
1:46:44	この敷地周辺っていうのは、その 50cm闘争あつせんもこの敷地周辺に入ってきてたりする。
1:46:51	とにかくと敷地周辺っていうのは
1:46:55	何を指してるのかっていうのがわからなかったんですが、これは
1:47:01	どうなって
1:47:03	どういうどういう使い方をされてるのかっていうところの確認なんですか。
1:47:08	お願いします。
1:47:11	はい、中国電力の田中です。50 ページのほうには敷地周辺括弧敷地を中心とする半径 30km範囲というふうに記載させていただいております、でも一定の 104 ページのほうの敷地周辺っていう表現だけのものとは少しこれを使い分けて
1:47:27	整理をしているというものでございます。まず 104 ページの敷地周辺といえますのは、これがいわゆるし、この影響評価ガイド上の敷地周辺の定義に合わせた表現になってるって考えております。すなわちガイド上では敷地及び敷地周辺の実績し、
1:47:45	A層圧等を考慮してトウソウ圧を決定するというふうな記載がなされておりますのでそういった意味合いでの敷地周辺ということで、と考えておるのがこの 104 ページの内容になっております。

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:47:58	一方、50 ページのほうなんですけれども、これが実際に調査した範囲ということで、当敷地の 30km 範囲を中心として調査を行っていたと。
1:48:13	いうものでございまして、そこは表現のほうを正確正確に表現するというところでその使い分けて記載させていただいているというものでございます。以上です。
1:48:27	規制庁カイダです。
1:48:30	その 104 ページのほうのこっちは敷地周辺というのとはちゃんと
1:48:36	広めに
1:48:37	取っているということで 30km で区切っていないというところで、
1:48:42	そこのお考えはわかりました。
1:48:45	で、50 ページのこのプロットされてるやつなんですけど、
1:48:51	結局だからこそ 30km の外れるところには SK 以外のものも、
1:48:56	いろいろ
1:48:57	あるってということで、この図にはコース。
1:49:01	3 弁の部分だけが
1:49:03	プロットされて、
1:49:08	そこは一応そういう位置付けの図だっていうのは、
1:49:13	わかりましたがです。
1:49:15	機能とかもあったほうが
1:49:19	新設かなと思いますけどそこは一応そういったことの位置付けということで確認しました。以上です。
1:49:30	中国電力の田中です。1 点だけちょっと補足をさせていただきますと、それとこの 30km の範囲内のところに雪のが実は入ってきていないということもございまして、うちの調査は沖の調査ということでそこは
1:49:46	分けて記載をさせていただいているという状況でございます。以上です。
1:49:53	規制庁の甲斐さん。わかりました。
1:50:01	規制庁タニです。
1:50:03	もうちょっと思ったんですけど、一応確認しますけどこれ現地調査行って、3 弁を昨日テフラこれですっていうふうに判断されてると思うんですけど、この辺で例えばサンデーの池田だとか、そういった違う火山灰も、
1:50:17	きっとあるんだと思うんですけど、その辺はもう
1:50:21	何かこう、これが起きるのですっていういえる理由っていうのはあるんですか。
1:50:34	中国電力の田中です。そのうちの同定の根拠となるものっていうことだと思いますけど、それは先ほどから説明してた補足説明の 56 ページですよ。例えば、

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。



1:50:53	56 ページでいきますと浮き布と 3B 系だと、あと云々というのが確認されておりまして、これがいわゆる申しぶん論文に示されている模式柱状図と露頭の状況が位置しているということも
1:51:09	根拠にですね、これが沖野テフラだというふうに同定をしてですね、全体の調査を展開しているという状況でございます。
1:51:21	規制庁タニです。だからさ、その辺のですね、最初大分前から言ってるのは、そういったどう違うのかとかですね、ぱっと見で行けたと分けるのかどうなのかとか、
1:51:37	その辺をちゃんと説明していただきたい。
1:51:40	と思っていますんで、例えば、じゃあなんでここだけ何か 300 件残っているようなところとかにこの下の火山灰リストって何なんだろうとか、見てて思うわけで、ちょっとその辺をしっかりと説明していただけたらと思います。
1:51:56	とにかくあれですよなんか分析みたいなの。
1:51:59	していないってことなんですかね今資料を見る限り、
1:52:05	中国電力の田中です。そうですね基本的にはもう露頭の状況でもこれが大きいんのでというふうに出てできると考えておりましたので、分析等を実施しておりません。
1:52:23	規制庁ナイトウですけども、そこにちゃんと説明してください。ね黒網の下にあるからこの露頭では軽石含んでるやつを一系等浮き布テフラがあと認定をしますというのはいいいんだけど。
1:52:40	じゃあ、そのほかにも行けないなりにいけたと。
1:52:44	何があるんだけどそれはどういう特徴を示しているのかってのは何も書いてないですよ。
1:52:49	この層序であるのであれば、黒棒の下の軽石のものについて意見言い切るのだったというふうに
1:52:59	判断できるっていうのはいいんだけども、黒棒ないほかの地点のところにおいて、じゃあ機能だと、じゃあ 1 桁なり、
1:53:09	何なりではなくてこれは受ける何だっはずっとやって判断したのかっつう全然説明になってきてないんじゃないんですか。
1:53:20	中国電力の田中です。火山灰単体の性状については個別に記載したものがなかったのでその辺は資料のほうは経営もう少しで拡充をしたいと思うんですけども、基本的には上の黒ボクで機能だというふうに判断しているわけではございませんで、

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:53:39	当期の階層にですね、Atを含む火山灰質の粘土質の火山灰がございまして、こういったところが他の地点でも見られておりまして、そういった情報をもとにこれが起きるのだということを判断しております。
1:54:00	事例でいきますと、
1:54:05	何ページか。
1:54:07	そこは、
1:54:08	ヒマラヤごめんね、失礼しました等だけど。
1:54:11	etがの上にあるからというので判断しましたって言ったらAT下にあるところって1点しかないよね。他のやつはどうやってこれを受けるだって同定したんですか。
1:54:21	そこを説明できてないんですよ皆さんちゃんと説明してください。
1:54:26	昨日はこういう特徴があるのでそれと特徴としてあってるものを受けるとして同定しましたという説明してもらわないと、何でうちの7と同定したのかってこと説明できてないんだけど、
1:54:38	黒網の下にある。
1:54:40	グローブボックスの外にあるだけじゃなくてATの上にあるんですって言ったらAT同定してるのって言ってるわけですよ。その中で皆さん他のシステムも含めてこれが受けるオダと、何をもってどうでしたんですか。
1:55:02	はい、中国電力の田中です。基本的には早々から判断できるものとして考えておりますけども、
1:55:10	その旨は例えば各地点のN付近の接写写真を、それぞれの地点で更新しておりますけれども、そういった褐色を呈する管理職来るものと、あとは角閃石を含む茶色っぽい確認石を含むというのはこの機能特徴でございますので、
1:55:27	ちょっとそういった接写写真をそれぞれの地点にお示しすることでこれを機能だというふうに解釈してますというのをすべてつけているつもりでございます。以上です。
1:55:46	規制庁ナイトウですけども、今ね、今説明されたところでこれを根拠に当機能として同定しましたっていうのはどこにも書いてない。
1:55:56	ですよ。逆に言うと今言ったように特徴については他のやつはこういう特徴であって違うからそれで判断できるというふうにしてはいるはずなんですけどもどこにも書いてない。
1:56:10	皆さん、だからどうやって同定したんですか。
1:56:13	っていうのが何も説明できてないんですけど。
1:56:16	結局何で取ってたんですか。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:56:26	はい、中国電力の田中です。同じ回答になりますけれども、基本的にはそうそうとか等、いわゆるこう軽石のいろんな状況とかの鉱物の状況見ながら判断をしているというところがございますけれども、御指摘がございました通り、
1:56:42	江藤池田はどうかとか云々との違いをどうかっていう観点では、具体的な記載はございませんので、その辺りの記載を充実させた上でですね、こういう判断で起きぬテフラと同定したというところを明確に記載させていただきたいと思います。以上です。
1:56:58	。
1:57:53	規制庁クマガエです。
1:57:55	ちょっとまた別の観点でちょっと確認ですけども、
1:57:58	例えば 45 ページのところ、今度は敷地における火山灰の分布の地質調査をされていて記載されてるんですけども、
1:58:07	敷地では第 4 紀火山を給源とする国際文書で確認されていないと。
1:58:12	あるんですけど、これ。
1:58:13	第 4、
1:58:14	火山は給源はないんですけども、ほかのものはあるということですか。つまり給源不明とかそういったものについては確認されているということなんでしょうか。ここはどういうふうに整理されているのか教えて。
1:58:38	中国電力の田中です。給源不明の火山灰等も確認をされておりません。この地点のやはり特徴は、第三期の中新世の堆積岩から成る上層実を加入があり、こういったものがあってもその上には、
1:58:53	4 系の崖錐堆積物、こういったものしか得等ありませんので、
1:58:59	給源不明なものの火山灰を第四期火山灰はありません。以上です。
1:59:04	。
1:59:10	規制庁クマガエです。
1:59:13	この書きぶりとしては、
1:59:16	その高角錆びて過去給源不明を含む。
1:59:19	ものについては確認されていないというふうにされていたのを、今回、
1:59:23	第 4 紀火山を給源とするっていうふうに
1:59:26	あえてですね、変更されているので、
1:59:28	こちら辺の趣旨がよくわからなかったんですけども、そこはこういった考え方なんでしょうか。
1:59:42	中国電力の田中です。

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:59:44	ここの敷地の地質というのは新第三紀の中心性もありますので、いわゆる3台新第三紀の凝灰岩等につきましても、これはが入ってきますので、と給源不明を含むっていうふうな記載をするししますと、
2:00:05	もうちょっと矛盾が生じるんじゃないかという記載が子供かありましてですね、記載をとらせていただいたというものでございます。ただ現状は今第4紀火山を給源とするという記載がございますので、括弧給源不明を含むと書いても事実関係とは相違はないというふうに考えております。
2:00:22	以上です。
2:00:23	。
2:00:39	規制庁クマガエです。
2:00:41	その第四期の
2:00:45	火山の
2:00:47	ものについては、
2:00:50	給源を不明もフック含んでそういったものが確認されてないというような
2:00:55	御趣旨でよろしいですか。ここだけ確認させてください。
2:01:01	中国電力の田中です。その通りです。以上です。
2:01:08	規制庁クマガエです。はい、承知しましてあともう1点だけ。
2:01:14	はい、性状クマガエです。
2:01:17	ということであればきちんとこの辺の給源不明を含んでいるかどうかとかそういった観点のところもですね。
2:01:23	きちんと明記していただければと思いますのでよろしくお願いいたします。
2:01:30	中国電力の田中です。審査会合でもそういったご指摘がございましたので、申し訳ございませんこの地域資機材のほうですね適正化させていただきたいと思っております。以上です。
2:01:43	規制庁クマガエです。あと、今度、
2:01:45	第4紀火山の抽出のところ、15ページのところで、先ほど説明のところだったんですけども。
2:01:53	市長センターの記載ぶりですね、記載するという御説明だったんですが、
2:01:59	個目坂。
2:02:01	目先のところについては、地質調査総合センターでは、
2:02:05	神様の目先かというふうに分類されていたかと思うんですけども。
2:02:09	そこの、そういうふうに市長の記載ぶり今回豆坂と記載すべりでちょっと異なってるんですけども、そこら辺はどういうふうに整理されて変更されてるんでしょうか。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

2:02:23	はい、中国電力の田中です。記載のほうがちよっと不足しておりまして大変申し訳ございませんでした。
2:02:31	ご指摘の通りですね、地質調査総合センターのF&Aアクア神様のポツ目さかというふうに記載されておりまして、通すかみさん透明策を統合した形で記載をされているかと思いますが、神様の地点につきましては、これちよっと距離的に微妙でございまして地理的領域以外の169を超える位置に
2:02:50	高見澤のっていうのが分布しておりまして、これも地理的領域以外に該当するだろうという判断のもとで神様の部分については記載をしていないという状況でございます。ですからその考え裾野を除外するという点につきましては、資料中にはですね、記載させていただき、
2:03:08	たいと思いますし、
2:03:11	これは考え方によってかみさんも残したほうがいいという考え方もあるので、もしよろしければ、ご意見も伺いたいというのが正直なところですけども、いかがでしょうか。
2:03:28	規制庁クマガエです。
2:03:30	神様の場所がどこら辺になるのかっていうところもあるかと思うんですけども、この距離というのは、
2:03:39	どのように図られてるんで、敷地からの距離とのその敷地の
2:03:43	ぎりぎりの端のところからの距離を図られてるということによろしいですか。
2:03:50	中国電力の宝ハウス基本的にはReactorですね新技術建物の位置からの距離を間検討しております。以上です。
2:03:59	はい。
2:04:01	規制庁クマガエです。
2:04:04	現在、
2:04:05	原子炉からの距離というようなイメージで、
2:04:10	測定されているということです。
2:04:14	はい中国電力の田中ですそうです。以上です。
2:04:22	既設のナイトウですけども、皆さんは火山の分類をなりに従ってやったんですか、もう一度確認なんですけれども、
2:04:30	産総研基調の分類に従ってやったんですかそうじゃないんですけど、どっちなの。
2:04:42	はい中国電力の田中です。次長の分類に従ってやったつもりでいたんですが、少しその160kmという距離の中で解釈が入ってしまって整理になっておりますので、と考え方のほうを再整理して、
2:04:58	したいと考えております。以上です。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

2:05:31	はい。
2:05:33	規制庁クマガエですね、ちょっと最後になります。ちょっと1点だけ教えてください。
2:05:40	20、22 ページのところで、基本フローがありますけれども、
2:05:45	ここで、
2:05:46	④の(1)で、
2:05:48	運用期間中の
2:05:51	火山の活動可能性が十分小さいかということです、ノーになったら、④の2番のところであって、
2:06:00	到達可能性が十分小さいかどうかというのが確認されるかと思うんですけども、
2:06:04	この運用期間中の火山の活動性活動可能性が十分小さいか否かというのは、そこはどこか記載があるんでしょうか。23 ページに行くと思う。
2:06:15	到達可能性の話になってしまってるんですけども、そこをどのように整理されているのか教えてください。
2:06:26	はい。中国電力の田中です。
2:06:29	基本的な検討の整理としましてはその前段の原子力発電所に影響をおよぼし得る火山の中で整理をしております、
2:06:43	その中で検討対象火山のほうを抽出しております、
2:06:47	と活動可能性の方につきましては、と活動可能性があるという前提のもとでの評価をして
2:06:56	設計対応不可能な事象に対する評価というのをすべて行っているという状況でございます。
2:07:02	ですから、運用期間中の活動を過度の活動可能性については、基本的にはあるものとして整理を資料を整理し論としては整理をしているという状況でございます。ですから活動可能性が十分小さいかどうかという判断については、
2:07:19	正直なところの記載はないかなと思っておりないと思います。以上です。
2:07:29	規制庁クマガエです。
2:07:34	今日、当原子力発電所に影響をおよぼし得る。
2:07:38	火山の抽出のところで将来の活動可能性が十分小さいと。
2:07:42	かどうかということで評価されていてさらにそこで、このガイド上では、今度運用期間中はどうかと。
2:07:50	いう話もありますのでこのガイドに基づいてやられてるのであればその
2:07:55	の整理だけでもですね、どっかにきちんと明示をしていただければと思います。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

2:08:03	はい、中国電力の田中です。外筒のあのフローに従った記載というのをちょっと再度確認してですね、追記あまり場合によっては修正という形をとらせていただきたいと思います。以上です。
2:08:31	規制庁クマガエですと、ちょっと時間も大分過ぎてしまいましたけれどもこれで他に何もなければですね。
2:08:38	ヒアリングのほうを終わりたいと思いますけども、
2:08:40	中国電力さんの何かございますでしょうか。
2:08:46	はい、中国電力の鹿島です。こちらのほうからは特にありません。以上です。
2:08:52	規制庁クマガエですと、今回ヒアリング 2 回目にはなりますけれども、ちょっと今回いろいろと内容の整理とかですねそういった話をお願いしていますので、
2:09:02	次、
2:09:04	もう一度やるのかどうかというのをですねじゃんと。
2:09:09	確認しないとイケないと思いますので、
2:09:13	資料を直していただいたらですねまた資料のほうを御提出いただいて、それで、
2:09:19	今後の進め方について判断していきたいと思いますけれども、
2:09:23	いかがでしょうか。
2:09:25	はい、中国電力の鹿島です。本日いただいた指摘を踏まえまして、できるだけ早いタイミングでお出しできるようにいたします。
2:09:35	以上です。
2:09:37	はい、規制庁クマガエです。
2:09:39	津波のどれくらいのタイミングなのか今わかる範囲でお答えできれば、お願いいたします。
2:09:50	中国電力の鹿島です。1 週間を目安に急いでいきたいと思います。以上です。
2:10:00	規制庁クマガエです。はい、では、
2:10:03	できましたらまたご連絡いただければと思います。
2:10:07	あとは特になければ終わりたいと思いますけれどもよろしいですか。

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。